

山の自然科学研究会 臨時巡検

鶴見・川崎の歴史と地形観察

2016年3月30日

参加者：宮川、川村、田中、大船、西田、杉山*

* 山の自然科学クラブ

巡検コースの概要

新横浜(集合)

- 下末吉層露頭観察 12万年前の下末吉海進のときにできた砂の堆積層
- 県立三ツ池公園 ソメイヨシノ、オオシマザクラ、ヨコハマヒザクラが満開
- JR鶴見駅
- 曹洞宗大本山總持寺 永平寺と並ぶ大本山
- 鶴見駅ビルで昼食
- 鶴見川流路変更の痕跡 河川工事で川が直線化された
- 旧東海道一里塚 江戸から5つ目の一里塚
- 鶴見市場駅 → (京浜急行) → 京浜川崎駅 → 再び旧東海道を歩く
- 川崎宿跡 旧東海道は多摩川の自然堤防の上に造られた？
- 多摩川・六郷の渡し跡 明治天皇の渡御の際には23隻による舟橋が架けられた
- JR川崎駅(解散)

下末吉層露頭



露頭は、フェンスの向こうの崖
(比高約10m) 中腹にある

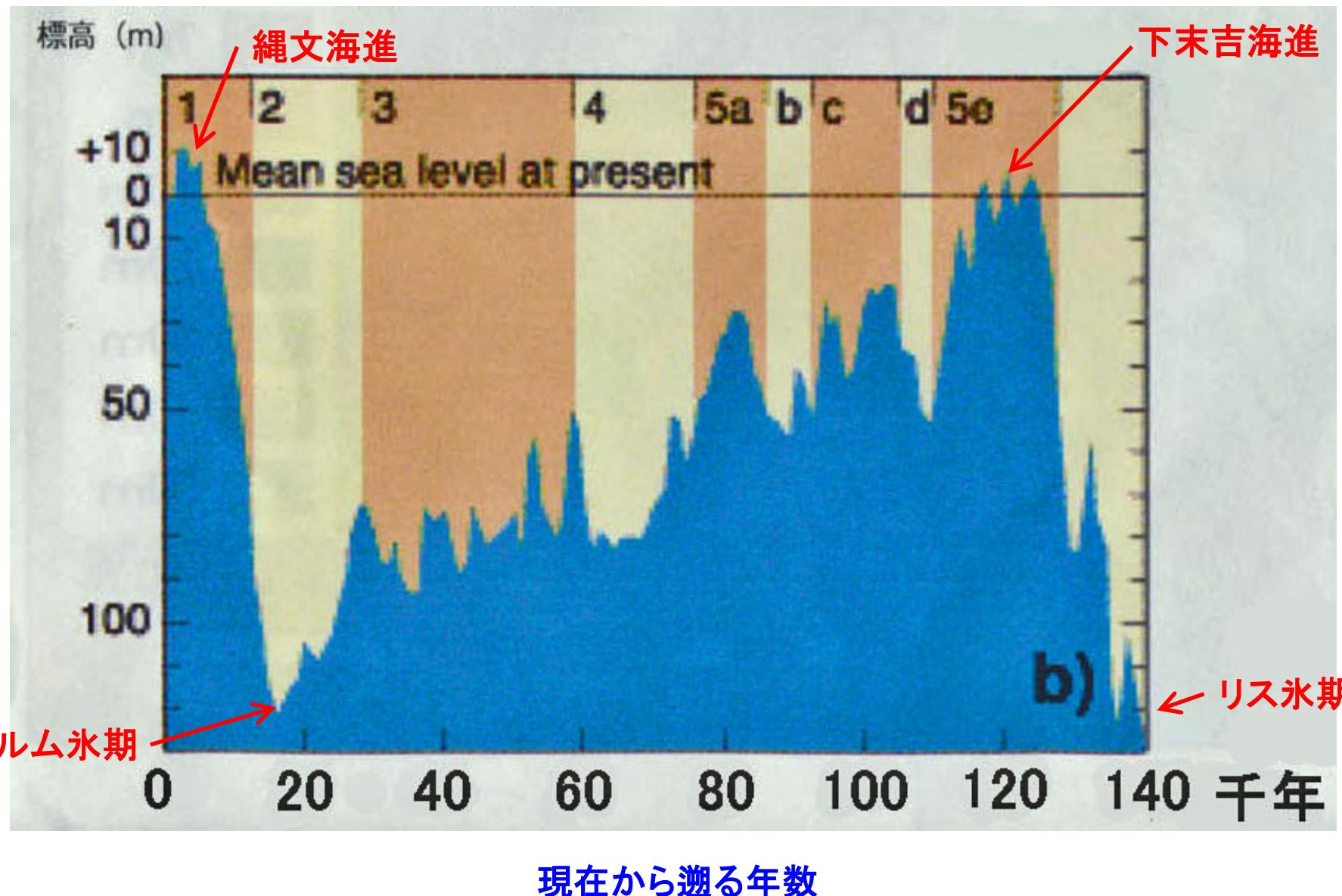


この層がローム層でなく砂層であることは
水中堆積物であることを示している

下末吉層が堆積した時期

下末吉層は
この頃堆積した

現在と比較した海水準の変化



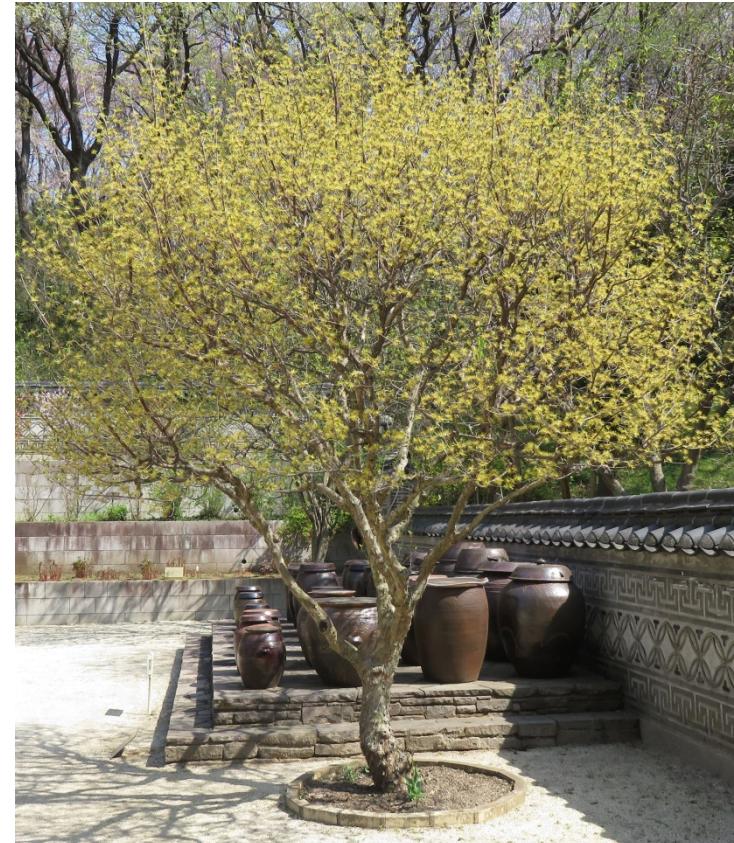
神奈川県立三ツ池公園（横浜緋桜の前で記念写真）



神奈川県立三ツ池公園（コリア庭園）



別堂「通友齋」



サンシュユの木と壺

曹洞宗大本山 総持寺（佛殿）

明治44年に石川県能登から神奈川県鶴見の地（10万坪の境内）に移転した



鶴見川流路変更の痕跡



鶴見川の流路変更の痕跡の観察点

B点から見た旧流路に沿った道(右側) →



A点から見た鉄橋基礎の残骸



旧東海道は多摩川の自然堤防の上に造られた？



多摩川に向かって左側の道は、下っている

旧東海道の十字路の真ん中に立って、左右を眺めれば…



多摩川・六郷の渡し跡



六郷橋から海側を望む (左)東京都、(右)神奈川県



六郷橋上の県境で記念写真

明治元年、明治天皇が京都から東京に移るときの六郷渡御の際には23隻による舟橋が架けられた

神奈川県横浜市鶴見区を出発し
東京都大田区に到着し
臨時巡査は無事終了した